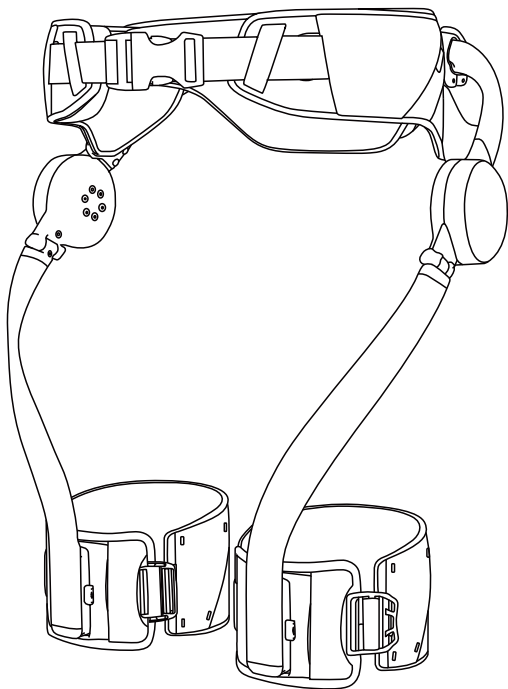


取扱説明書

次世代外骨格



HYPERSHELL

目次

内容物	1
製品概要	
1. 各部の名称	2
2. 仕様	3
初めてのご利用	
1. Hypershell+アプリの設定	5
2. 使用前の準備	6
3. 着用方法	7
4. 初期起動	9
使用方法	
1. 電源オン/オフ	11
2. 操作の説明	11
3. バッテリー情報	14
4. 脱着方法	18
5. 布部品の交換	19
メンテナンスと保管	
1. 定期メンテナンス	26
2. 保管ガイドライン	27
トラブルシューティング	28
商標および法的表示	31

Hypershell+アプリをダウンロードしてください。

QRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



Android



iOS

危険

この指示に従わない場合、重傷を負うおそれがあります。

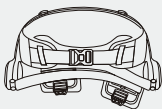
警告

この指示に従わない場合、軽傷を負う、誤動作を起こす、または製品を損傷するおそれがあります。

注意

安全上の危険には直接関係しない、重要な情報や有用なヒントを示します。

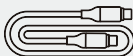
内容物



本体*1



Go : インテリジェントバッテリー*1
Pro / Carbon / Ultra :
耐寒バッテリー*2



USB-C充電ケーブル*1



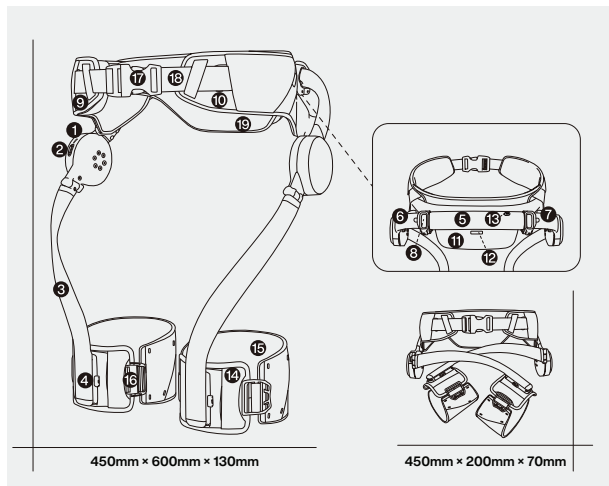
取扱説明書*1



保証書*1

製品概要

1. 各部の名称



- | | |
|---------------------|----------------|
| ❶ ステータスLED | ❷ 左ヒップサポート |
| ❷ コントロールボタン | ❸ バッテリー |
| ❸ レッグレバー | ❹ バッテリー解除ボタン |
| ❹ レッグレバースライド
ボタン | ❺ 充電ポート |
| ❺ ヒップレバー | ❻ フロントレッグストラップ |
| ❻ 左ヒップレバーチューブ | ❼ バックレッグストラップ |
| ❼ 右ヒップレバーチューブ | ❽ レッグバックル |
| ❽ ヒップクランプ | ❾ ヒップベルトバックル |
| ❾ 右ヒップサポート | ❿ ヒップベルト |
| | ⓫ 腰当てパッド |

画像はイメージです。実際の製品は、デザイン、特徴、仕様などが変更される可能性がありますので、ご了承ください。

2. 仕様

製品	Hypershell X Go	Hypershell X Pro	Hypershell X Carbon	Hypershell X Ultra
型番	HGX-400W-NYL	HPX-800W-NYL	HCX-800W-GTX	HXU-900W-TPU
寸法	折り畳み時：450 mm × 200 mm × 70 mm 展開時：450 mm × 600 mm × 130 mm			
本体重量	2 kg		1.8 kg	
最大出力	400 W	800 W		1000 W
バッテリー単体での航続距離 ¹	15 km	17.5 km		30 km
操作モード	透明モード、 エコモード	透明モード、エコモード、 ハイパーモード、トレーニングモード		
体力消費削減 ²	最大20%	最大30%		最大39%
アシストスピード	最大12 km/h	最大20 km/h		最大25 km/h
動作姿勢認識	6：階段を下りる、下り坂、上がり坂、段階を上げる、競走、ウォーク	10：階段を下りる、下り坂、上がり坂、段階を上げる、登山、サイクリング、ランニング、砂利道、競走、ウォーク		12：階段を下りる、下り坂、上がり坂、段階を上げる、登山、サイクリング+、ランニング+、砂利道、競走、ウォーク、雪原、砂丘
AIエンジン	MotionEngine Lite	MotionEngine		MotionEngine Ultra
材料	アルミニウム合金		チタニウム/炭素繊維	
生地	ナイロン	ナイロン	AquaTex	ナイロン

注記：

1. 外骨格をエコモード（30%の電力）に設定し、実験室で制御されたトレッドミルで1°の傾斜で4 km/hで歩行中に測定されました。データは管理された実験室条件下で収集されました。実際のパフォーマンスは、環境条件、地形、負荷、ユーザーの生理機能、歩行スタイルによって異なる場合があります。

2. 最適なアシスト設定に構成された外骨格を使用して、実験室で制御された屋内サイクリング中に測定されました。外骨格の補助なしでのサイクリングと比較すると、動的酸素消費量は39.2%減少しました。実際のパフォーマンスは、環境条件、地形、負荷、ユーザーの生理機能、ライディングスタイル、自転車のモデルによって異なる場合があります。

製品	Hypershell X Go	Hypershell X Pro	Hypershell X Carbon	Hypershell X Ultra
保護レベル	IP54			
定格電圧	14.4V			
最大充電電圧	16.8V			
バッテリーの種類	インテリジェント バッテリー（標準 付属）；耐寒温度 バッテリー （方法）	耐寒バッテリー（標準付属） インテリジェントバッテリー（方法）		
本体重量	約400g			
容量	4,800mAh, 72 Wh			
作動温度	-10℃～60℃	-20℃～60℃		
保管温度	0℃～40℃			
充電ポート	USB-Cポート；PD対応			
充電時間	標準のType-C高速充電ケーブルと65 W充電器（方法）で90分充電可能 Hypershell 4ポート充電ハブ（方法）を使用すると、 各デバイスを90分で充電可能			

初めてのご利用

Hypershell X外骨格は、梱包前に折り畳まれます。以下の手順に従って展開し、準備をしてください。

1. Hypershell+アプリの設定

1.1 Hypershell+アプリをダウンロードしてください。

方法1：下のQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



Android

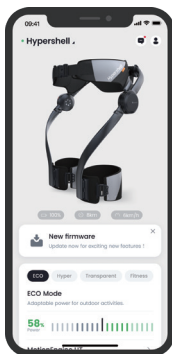
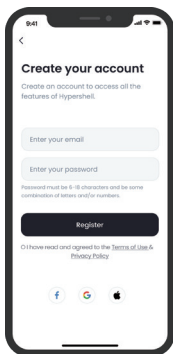


iOS

方法2：最新のソフトウェアバージョンをダウンロードし、変更履歴を確認するには、ウェブリンク (<https://www.hypershell.tech/support/>) をアクセスしてください。

方法3：Google PlayまたはApp Storeで「Hypershell+」と検索してダウンロードしてください。

1.2 アカウントを作成し、アプリの設定を完了してください。



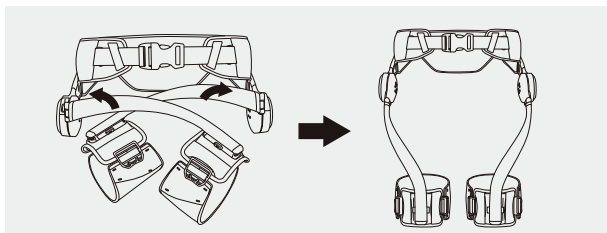
注意

- 本体の初期設定は、Hypershell+アプリを利用する必要があります。
- 本体は1つのスマートデバイスにしかペアリングできません。新しいデバイスに接続するには、ペアリング中のデバイスを解除してから接続してください。

2. 使用前の準備

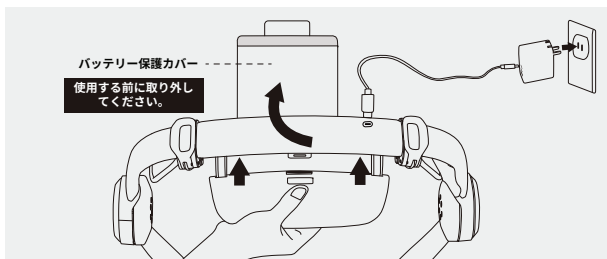
2.1 パッケージを開けて取り出します。

2.2 2本のレッグレバーを反対方向に回転させてボディ構造を展開します。

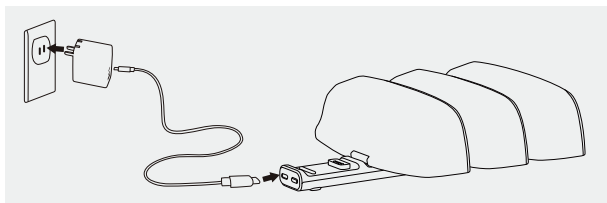


2.3 安全を確保するために全てのバッテリーは出荷前に休止モードになっています。初めて使用する前に、バッテリー保護カバーを取り外します。バッテリーをアクティブにするには、付属のUSB-C充電ケーブルを使用して接続します。

a. Hypershell 65 W充電器（方法）またはサードパーティ製65 W PD充電器を使用する場合は、カチッという音がしてしっかりと固定されるまで、バッテリーをヒップレバーに挿入します。バッテリーを完全に充電するには約90分かかります。

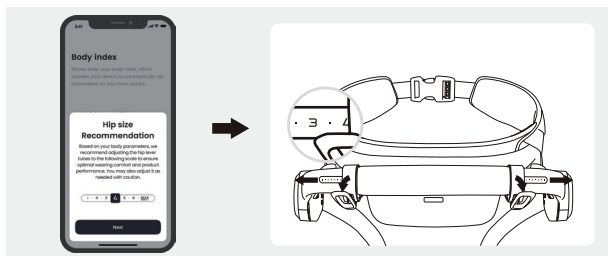


b. Hypershell 4ポート充電ハブ（オプション）を使用する場合はハブのバッテリーポートにバッテリーを挿入してください。バッテリーを個別に充電するには約90分かかります。上記のようにフル充電後にバッテリーをヒップレバーに戻してください。

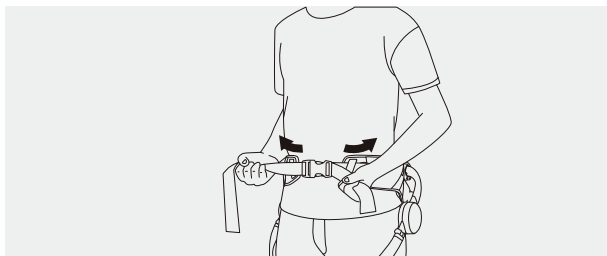


3. 着用方法

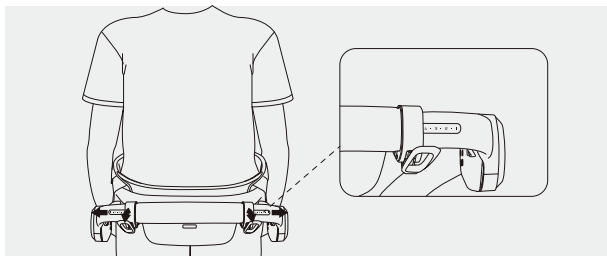
3.1 ヒップクランプのロックを解除し、Hypershell+アプリが推奨スケール値に従って、2本のヒップレバーチューブの長さを調整してください。



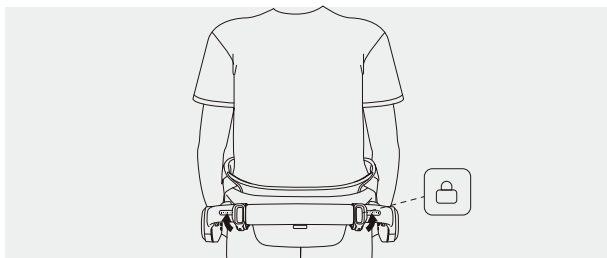
3.2 ヒップイリアックレスト（腰骨）の上端にヒップベルトを装着してください。



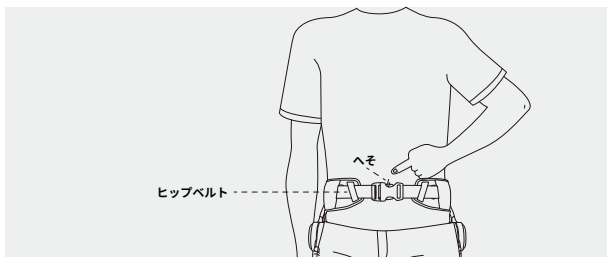
3.3 ヒップレバーチューブの長さを再調整し、ヒップレバーがボディの側面にしっかり当たるようにします。最適な快適性と均等な力の配分を得るために、2本のチューブをほぼ同じスケール値に設定します。



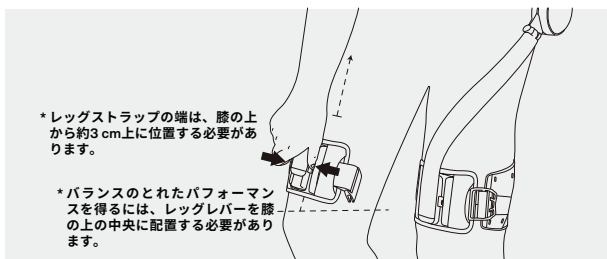
3.4 ヒップクランプをロックして、ヒップレバーチューブを所定の位置に置いてください。



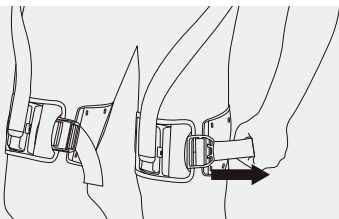
3.5 ヒップベルトバックルを調整してロックしヒップベルトの上端がおへそに合うようにしっかりと固定してください。



3.6 両側のレックレバースライドボタンを同時に押してレックレバーを適切な位置に調整します。



3.7 太ももの周りにネクストラップを装着します。レグバックルを調整してロックし、快適に所定の位置に固定します。

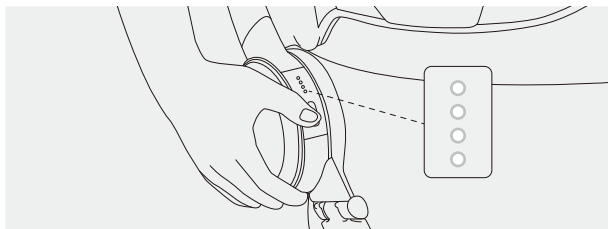


警告

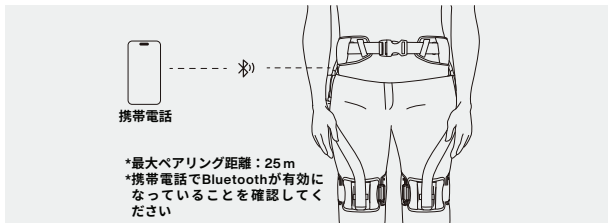
- 本製品は、限定された大人の体格を対象としています。初回使用前に「仕様」セクションを参照し、ご自身の体格が適用範囲内であることを必ず確認してください。適用範囲外での使用は、製品故障の原因となるおそれがあります。
- ヒップベルトおよびレッグストラップは、必ず衣服の外側に着用してください。素肌に直接触れさせないでください。皮膚刺激、アレルギー反応、その他の不快感の原因となるおそれがあります。ドレスなどのゆったりした衣服、または動きを制限する衣服の着用は推奨しません。適切なフィット感や機能を妨げ、スポーツ活動中の安全性および性能に影響するおそれがあります。

4. 初期起動

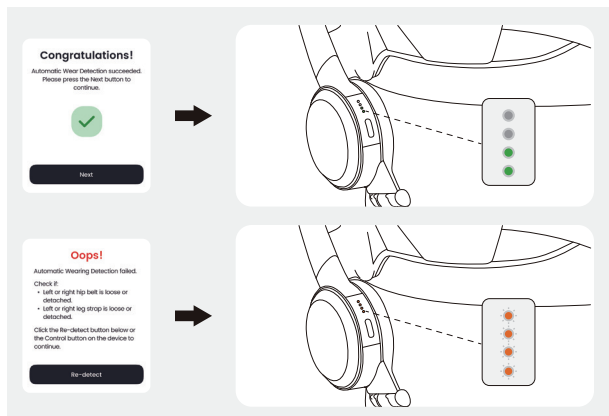
4.1 電源ボタンを押し、4つのインジケータライトが順番に点灯するまで2秒間押し続けます。これにより、デバイスの電源がオンになっていることが確認されます。



4.2 デバイスの近くに携帯電話を置き、Bluetoothを有効にして、接続を確立するためにデバイスを検索してください。



4.3 接続に成功すると、デバイスは自動装着検知を開始し、エコモードへ切り替わります。接続に失敗した場合、Hypershell+アプリに失敗メッセージが表示され、デバイスは「装着検知失敗」状態になります。その場合は、デバイスを再起動してから再度接続をお試しください。



4.4 Hypershell+アプリの画面表示に従い、クイックスタートガイドを順に完了してください。

危険

- 外骨格を正しく着用しない場合、デバイスの故障やバランスの喪失を招き、特に激しい屋外活動時には転倒やけがのリスクが高まります。必ず正しい手順に従って装着してください。

注意

- デバイスは装着のたびに自動装着検知を開始します。
- エコモードと透明モードの定義については、「使用方法」にある操作説明を参照してください。

デバイスの準備が完了しました！

Hypershellを装着して、新しいチャレンジを始めよう！

使用方法

1. 電源オン/オフ

1.1 デバイスの電源をオンにするには、電源ボタンを押し、4つのインジケータライトが順番に点灯するまで2秒間押し続けます。これにより、デバイスの電源がオンになっていることが確認されます。

1.2 デバイスの電源をオフにするには、電源ボタンを押し、4つのインジケータライトが順番に消灯するまで2秒間押し続けます。これにより、デバイスの電源がオフになっていることが確認されます。

2. 操作の説明

2.1 モード定義

Hypershell Xシリーズは4つの操作モードをサポートしており、モードは右側モーターのコントロールボタンで切り替えることができます。

モード	定義
透明モード	アシストなし
エコモード	通常の活動に適用するパワー
ハイパーモード	激しい運動にも対応できるダイナミックなパワー
トレーニングモード	トレーニングのために意図的に負荷をかける状態

注意

- Hypershell X Goはハイパーモードとトレーニングモードを対応してません。

2.2 右側モーターの操作ボタンによる操作（方法1）

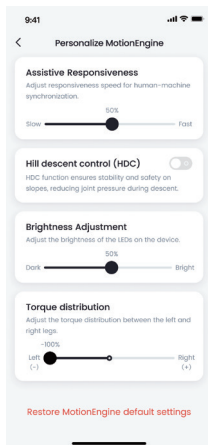
1. 1回短く押す
 - ・ 装着検知が成功した場合は、透明モードとエコ/ハイパーモードを切り替えます。
 - ・ 装着検知が失敗した場合は、シングルクリックで検知プロセスを再試行します。
2. 2回連続で押す
 - ・ アシストパワーレベルを上げます。
3. 3回連続で押す
 - ・ アシストパワーレベルを下げます。
4. 2秒間押し続けると、エコモードとハイパーモードが切り替わります。

モード	LEDステータス	指示	備考
透明モード		青色の点灯	ボタンを1回押すと、透明モードとエコ/ハイパーモードが切り替わります。
Bluetoothペアリング		青色が順次点灯	バインドされたデバイスが検出されない場合は自動的にペアリングモードに入ります。
エコモードパワー1		緑色の点灯	ボタンを2回押すと、出力が上がります。ボタンを3回押すと、出力下がります。ボタンを2秒間長押しすると、エコモードとハイパーモードが切り替わります。
エコモードパワー2		緑色の点灯	
エコモードパワー3		緑色の点灯	
エコモードパワー4		緑色の点灯	
ハイパーモードパワー1		赤色の点灯	
ハイパーモードパワー2		赤色の点灯	
ハイパーモードパワー3		赤色の点灯	
ハイパーモードパワー4		赤色の点灯	
トレーニングモードパワー1		黄色の点灯	トレーニングモードへの切り替えは、Hypershell+アプリからのみ可能です。
トレーニングモードパワー2		黄色の点灯	
トレーニングモードパワー3		黄色の点灯	
トレーニングモードパワー4		黄色の点灯	
装着検知失敗		オレンジ色の点滅	装着検知が失敗した場合

Hypershell+アプリがデバイスに接続されるたびに、操作データは自動的に同期されます。

2.3 Hypershell+アプリを使用した操作（方法2）

デバイスはHypershell+アプリを介して操作できます。アプリ上でモードの切り替えやカスタム設定の変更が可能です。



注意

- Hypershell+アプリ経由でデバイスを操作する場合は、Bluetoothがオンで有効になっていることを確認してください。

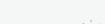
3. バッテリー情報

危険

- 使用直後はバッテリーが高温になる可能性があるため、ただちに充電しないでください。充電を開始する前に、バッテリー温度が十分に下がるまで待機してください。
- 理想的な充電温度範囲は0～40℃です。バッテリー温度がこの範囲を外れると、保護のため充電は自動的に停止します。
- バッテリー状態を維持するため、少なくとも3か月に1回はバッテリーを満充電にしてください。
- 3か月以上使用されていない（充電または放電されていない）バッテリーは、保証の対象外となります。
- 使用前に、必ずバッテリーのラベルおよび本マニュアルの「メンテナンスと保管」を参照してください。バッテリーの適切な取り扱い・操作・使用はユーザーの責任となります。

3.1 ステータスLEDとバッテリーインジケータ

コントロールボタンの操作が10秒間ない場合、デバイスはステータスLEDで自動的にバッテリー残量を表示します。コントロールボタンを再度押すと、現在のモードの表示に戻ります。

LEDステータス	指示	説明
	白色の点灯	バッテリー容量75%~100%
	白色の点灯	バッテリー容量50%~75%
	白色の点灯	バッテリー容量25~50%
	白色の点灯	バッテリー容量10%~25%
	LED1：赤色の点滅	バッテリー容量低下<10%
	LED1：白色の点滅	バッテリー充電レベル：0~25%
	LED1：白色の点灯 LED2：白色の点滅	バッテリー充電レベル： 25~50%
	LED1&2：白色の点灯 LED3：白色の点滅	バッテリー充電レベル： 50~75%
	LED1&2&3：白色の点灯 LED4：白色の点滅	バッテリー充電レベル： 75~100%
	すべてのLED：白色の点灯	バッテリー充電レベル：100%

注意

- ステータスLEDは右側モーター上にあります。明るさはHypershell+アプリから調整できます。

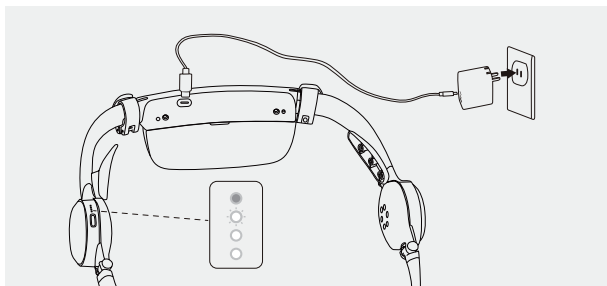
低バッテリーレベル安全システム

1. バッテリー残量が10%未満になった場合は、直ちに充電するか、電源をオフにしてバッテリー交換をおすすめします。
2. バッテリー残量が10%以下になると、デバイスは出力を段階的に低下させ、最終的に透明モードへ移行します。
3. バッテリーが完全に消耗すると、デバイスの電源は自動的にオフになります。

3.2 充電器を使ってバッテリーを充電する

使用する前に付属の標準USB-C充電ケーブルを使用して、バッテリーを完全に充電してください。Hypershellの公式充電デバイスや電力定額が100W以下の他のUSB-C Power Delivery充電器を使用することをお勧めします。

1. 充電ケーブルと充電器をヒップレバーの充電ポートに接続します。
2. 充電器をAC電源に接続します。右側のモーターのステータスLEDに、流れる光のパターンが表示されます。
3. ステータスLEDがすべて白色になるとバッテリーが完全に充電されます。充電器と充電ケーブルを取り外してください。

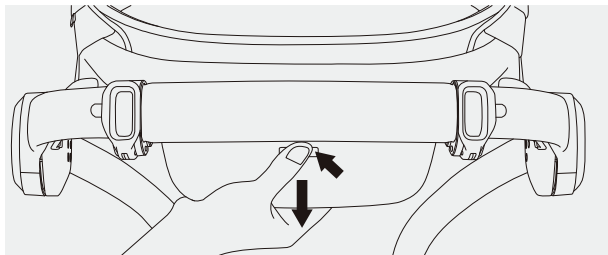


警告

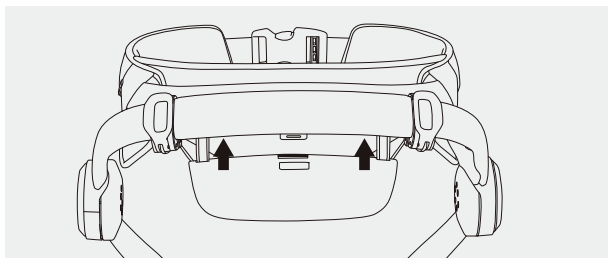
- ・ Hypershell公式の充電ハブは別売で、標準同梱されていません。
- ・ 電源コードを接続する前に、バッテリーポートおよび充電ポートが濡れてないことを必ず確認してください。
- ・ サードパーティ製の充電器を使用する場合は、USB-C接続に対応していることを必ず確認してください。
- ・ 充電効率は、サードパーティ製充電器の出力により異なる場合があります。

3.3 バッテリーの取り外し・装着

バッテリーを取り外す際は、バッテリーリリースボタンを押しながら、ヒップレバーからバッテリーを軽く引き出して取り外してください。



ヒップレバーのバッテリーロックポストを、バッテリーのくぼみに正確に合わせます。指示された方向へまっすぐ押し込み、カチッというロック音が確認できるまで挿入してください。最後に軽く引いて、確実に固定されていることを確認してください。

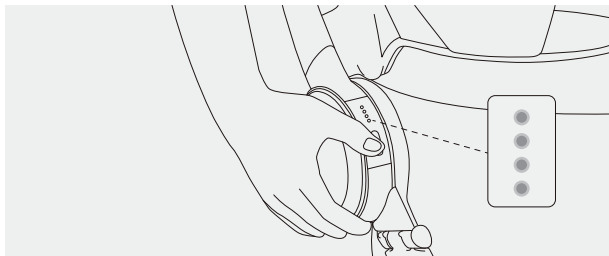


危険

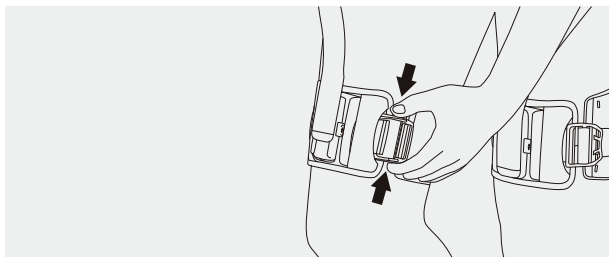
- ・ バッテリーが正しくかつ安全に取り付けられていることを必ず確認してください。

4. 脱着方法

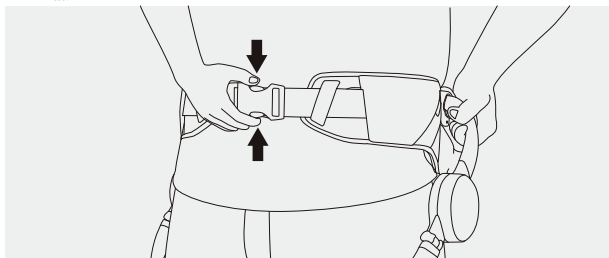
4.1 まず、デバイスの電源をオフにし、完全に停止したことを確認してください。



4.2 次に、レッグバックルの両側にあるボタンを押し、バックルのロックを解除してから、レッグストラップを外してください。



4.3 最後に、ヒップバックルの両側にあるボタンを押してロックを解除し、ヒップベルトを外してください。必要に応じて、他の人にヒップレバーをしっかりと保持してもらい、本体が落ちないように協力してください。



警告

- 脱着作業中にデバイスが突然落下しないよう十分に注意してください。

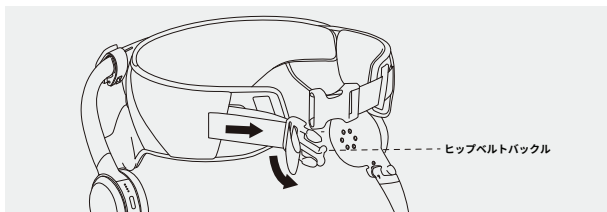
5. 布部品の交換

柔らかい布地の部品は時間の経過とともに摩耗するため、定期的な交換をお勧めします。

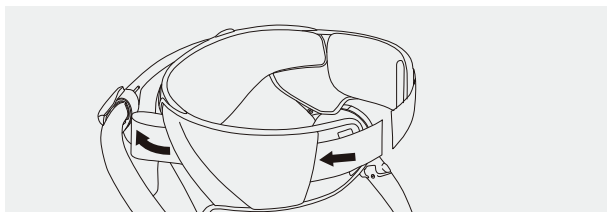
5.1 ヒップベルトの交換

注記：以下の手順では右側を例に説明します。特に記載がない限り、左側でも同じ手順を繰り返します。

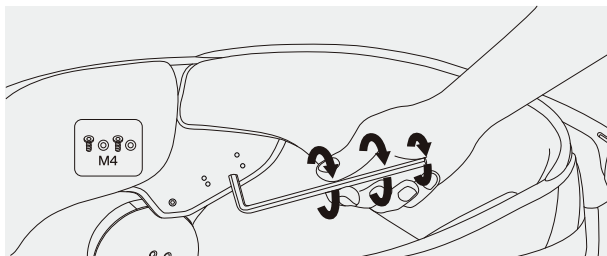
a) ヒップベルトバックルを外します。



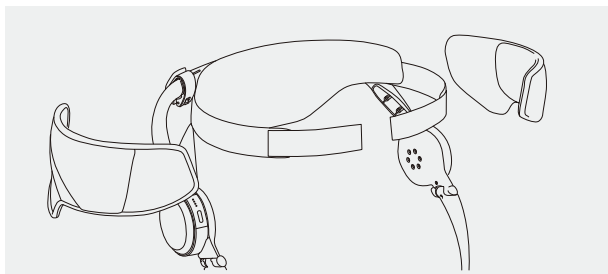
b) ヒップベルトを慎重に取り外します。



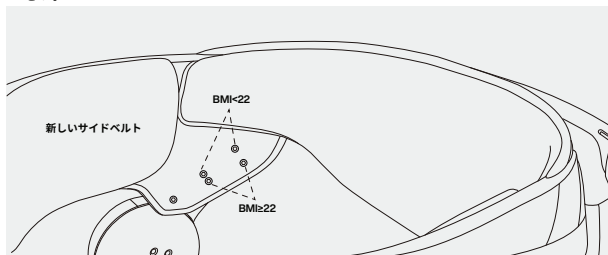
c) 付属の六角レンチを使用してください。ネジを反時計回りに回して緩めます。慎重にネジを外し、安全に保管してください。



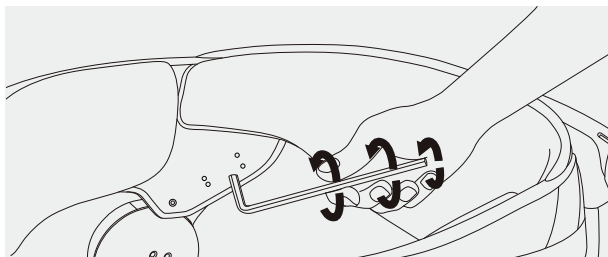
d) ヒップサポートからサイドベルトを外します。



e) 新しいサイドベルトをヒップサポートに取り付け、ネジ穴が揃っていることを確認してください。

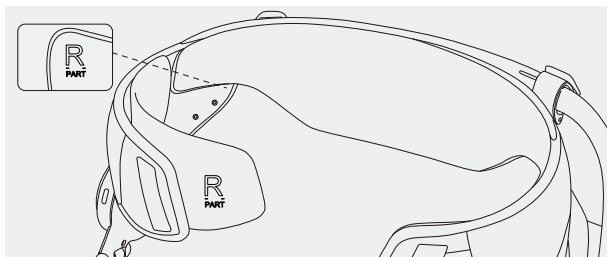


f) ネジを穴に戻し、六角レンチを使用して時計回りに締めます。



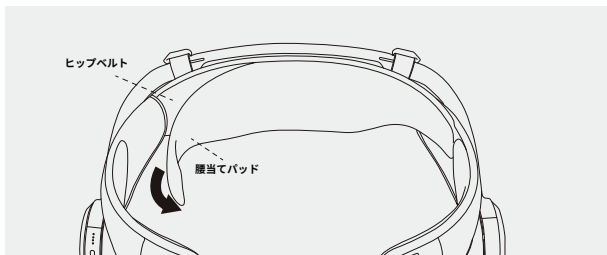
g) 左側で手順a)~f)を繰り返します。

h) 両方のヒップベルトの方向マークがヒップサポートのマークと一致していることを確認してください。

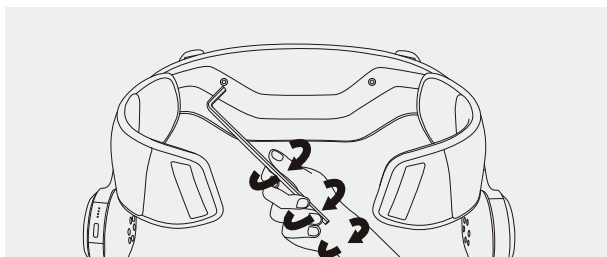


5.2 ヒップベルトと腰当てパッドの交換

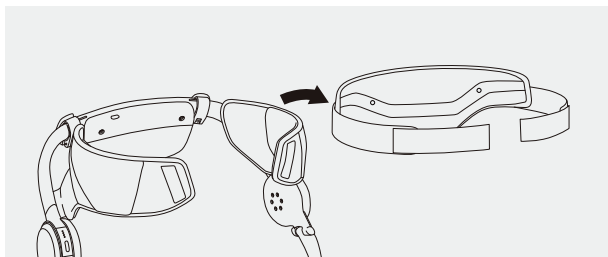
a) ヒップベルトから腰当てパッドを取り外します。



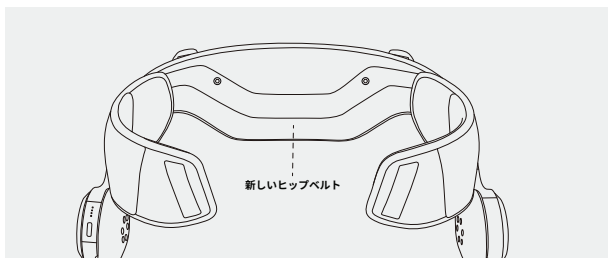
b) ネジを反時計回りに回して緩めます。慎重にネジを外し、安全に保管してください。



c) ヒップレバーからヒップベルトを外します。

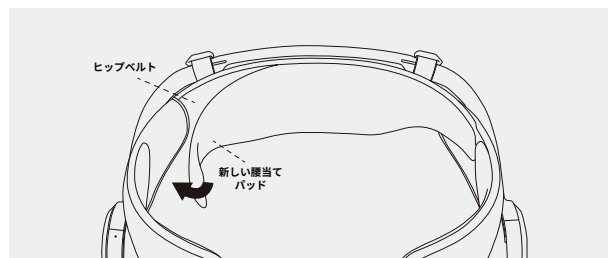


d) 新しいヒップベルトをヒップレバーに取り付け、ネジ穴が揃っていることを確認してください。

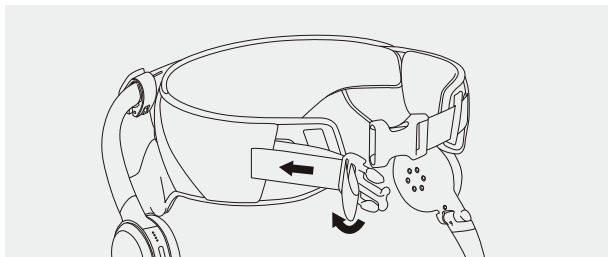
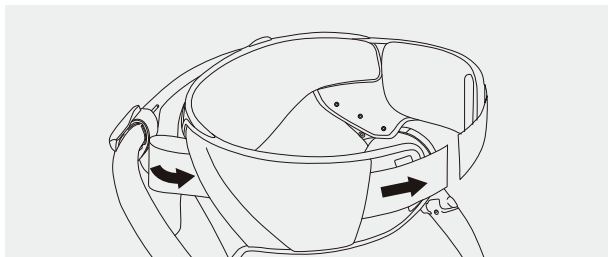


e) ネジを穴に戻し、六角レンチを使用して時計回りに締めます。

f) 新しい腰当てパッドをヒップベルトに取り付けます。



g) ヒップベルトを両側のヒップベルトとヒップベルトバックルに通します。

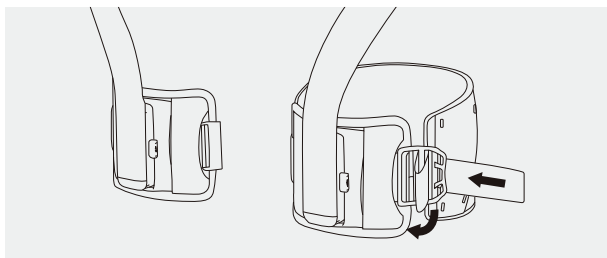
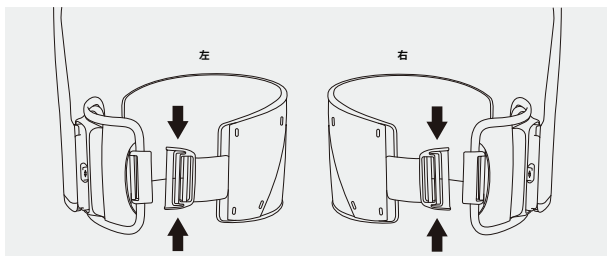


警告

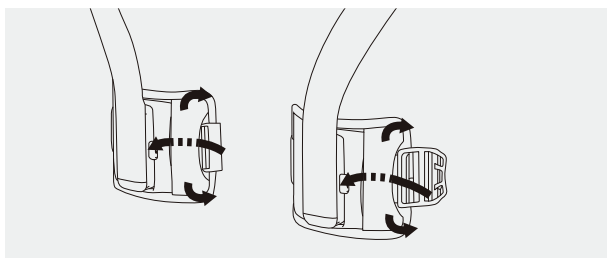
- 上図の矢印が示す方向・手順に必ず従って作業してください。

5.3 レッグストラップの交換

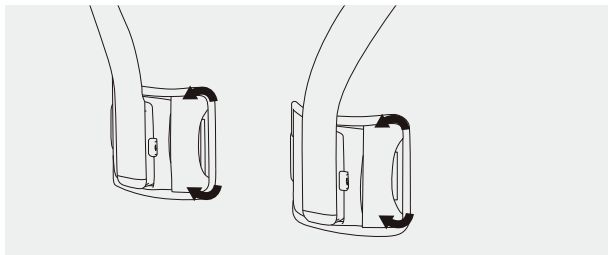
a) 両側のレグバックルのロックを解除し、バックレグストラップを取り外します。



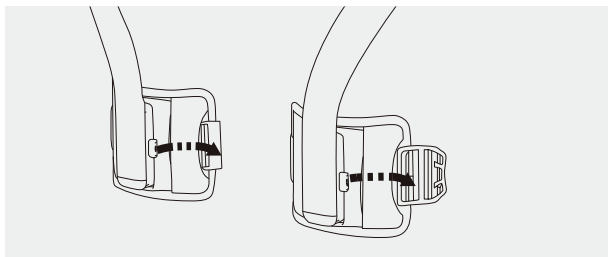
b) 生地の下にあるレッグレバーの開口部からレッグバックルを外してください。



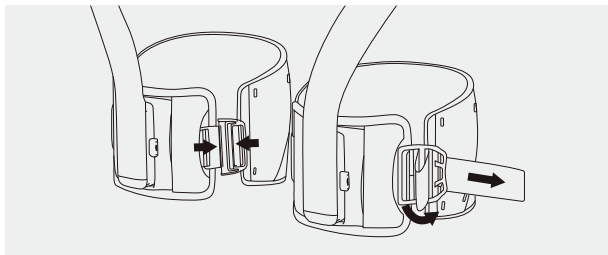
c) 新しいフロントレッグストラップを用意します。フロントレッグストラップの2つの織り部分をレッグレバーの端に滑り込ませます。



d) レッグバックルをレッグレバーの開口部に力を入れて押し込みます。



e) 新しいバックレッグストラップをフロントレッグストラップに取り付け、以下に示すようにバックルをロックしてください。



メンテナンスと保管

1. 定期メンテナンス

1.1 本体のクリーニング

- 柔らかく湿った布で本体表面を優しく拭き取り、汚れを除去してください。
- 表面の小さな汚れや頑固な汚れには、柔らかい歯ブラシに少量の研磨剤の少ない歯磨き粉を取り、優しくこすってください。作業後は濡れた柔らかい布でいねいに拭き取り、歯磨き粉の残留物を完全に除去してください。

警告

- アルコール、ガソリン、ディーゼル、アセトン、その他の腐食性・揮発性の化学溶剤で本体構造を清掃しないでください。これらの物質は表面コーティングの劣化や変色、樹脂部品の割れ・膨潤、シール材の損傷、内部部品の故障を引き起こす可能性があります。
- パワーワッシャーや高圧ホースで本体を洗浄しないでください。
- クリーニング中は、充電ポートやバッテリーポートの金属端子部に水分が侵入しないようにしてください。

1.2 ヒップベルトとレッグストラップ

a. ナイロン素材の場合：

- 濡れた布できれいに拭いてください。
- 洗濯機の使用は避けてください。激しい攪拌は素材の退色や変形を引き起こす可能性があります。
- タンブル乾燥はしないでください。自然乾燥させてください。
- 退色や変形を防ぐために、直射日光や高温の環境に長時間さらさないでください。

b. AquaTex素材の場合：

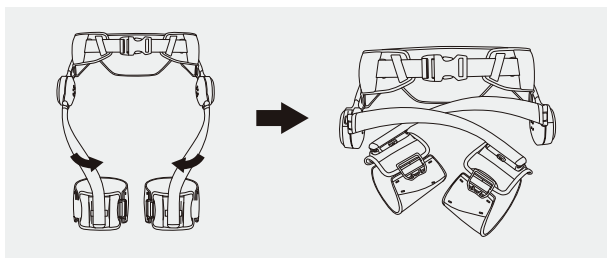
- 湿らせた布と中性洗剤で拭いてください。
- AquaTex保護スプレーを定期的に使用して、素材の防水性を回復させてください。
- 漂白剤や強いアルカリ成分を含むクリーナーの使用は避けてください。それらは素材の性能を損なう可能性があります。
- 洗濯機の使用は避けてください。激しい攪拌は素材に損傷を与える可能性があります。
- ダンブル乾燥や直射日光に晒さないでください。

警告

- 目に見える摩耗、破損、変形またはその他の損傷がある場合は、定期的にヒップベルトとレッグストラップを交換してください。

2. 保管ガイドライン

2.1 2本のレッグレバーを内側方向へ回転させると、本体が折りたたまれ、コンパクトに収納できます。



2.2 本デバイスは乾燥した風通しの良い場所に保管してください。屋外や直射日光が当たる場所に保管しないでください。

2.3 指定された範囲外の高温または低温の環境での保管や充電は避けてください。このような環境はバッテリーの寿命を縮め、故障の原因となります。温度や湿度の急激な変化は避けてください。

2.4 バッテリーの性能は室温で最適になります。低温では範囲と性能が低下し、温度が上がると回復します。

2.5 デバイスを3か月以上使用しない期間は、バッテリー残量を40～60%の範囲に維持することをおすすめします。

トラブルシューティング

1. 電源を入られません

バッテリーが正しく接続され、十分な電力が供給されていることを確認してください。問題が解決せず、バッテリーに関連していない場合は、Hypershellテクニカルサポートにお問い合わせください。

2. コントロールボタンを押したりモードを切り替えたりしても反応しない

Hypershellテクニカルサポートにお問い合わせください。

3. コントロールボタンを押してもステータスLEDが点灯しない

Hypershellテクニカルサポートにお問い合わせください。

4. デバイスがHypershell+アプリの操作にตอบสนองしない

a. Bluetoothが有効になっており、デバイスが正常に接続されていることを確認してください。

b. 正しいアカウントにログインしていることを確認してください。

c. Hypershell+アプリのバージョンを最新バージョンに更新してください。

d. 問題が解決しない場合は、Hypershellテクニカルサポートにお問い合わせください。

5. Hypershell+アプリのアカウント名またはパスワードを忘れた。

a. パスワードを忘れた場合は、ログイン画面の「パスワードを忘れた」をクリックして、パスワードをリセットしてください。

b. アカウント名とパスワードを忘れた場合は、登録されているメールアドレスを探してください。アカウントを回復できない場合は、新しいアカウントを作成する必要があります。

6. Hypershell+アプリにデータを同期できない

a. Bluetoothが有効になっており、デバイスが正常に接続されていることを確認してください。

b. 正しいアカウントにログインしていることを確認してください。

c. Hypershell+アプリのバージョンを最新バージョンに更新してください。

d. 問題が解決しない場合は、Hypershellテクニカルサポートにお問い合わせください。

7. 出荷時の状態に戻す

Hypershell+アプリを使用して工場出荷時のレデフォルトにリセットしてください。

8. Hypershell+アプリに表示されたエラーコード

解決策については、以下のエラーコード表を参照してください。

エラーコード	エラーの説明	解決策
error00	モーターが過熱しています。	デバイスを再起動する前に、バッテリーの温度が正常になるまでお待ちください。
error01	バッテリーの充電量が少なくなっています。ハイパーモードは利用できません。	ただちにデバイスを停止してください。バッテリーが充電され次第、再起動をすることができます。
error02	バッテリー温度が最適レベルを下回っています。	デバイスを再起動する前に、バッテリーの温度が正常になるまでお待ちください。

エラーコード	エラーの説明	解決策
error03	バッテリー温度が高すぎます。	デバイスを再起動する前に、バッテリーの温度が正常になるまでお待ちください。
error04	絶対位置センサーが故障しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error05	相対位置センサーが故障しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error06	CAN通信エラーを検出しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error07	空気圧センサーが故障しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error08	加速度センサーとジャイロセンサーが故障しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error09	地磁気センサーが故障しました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error10	ウエストベルトの緩みを検出しました。	指示に従ってデバイスを元に戻してください。正しく装着されると、システムは再検出します。
error11	レッグストラップの緩みを検出しました。	指示に従ってデバイスを元に戻してください。正しく装着されると、システムは再検出します。
error12	レグベルトの脱着を検出しました。	指示に従ってデバイスを元に戻してください。正しく装着されると、システムは再検出します。
error13	バッテリーの過充電保護が作動しました。	ご使用方法を中止し、バッテリーが冷えるのを待ち、接続を確認し、必要に応じてカスタマーサービスに連絡してください。

エラーコード	エラーの説明	解決策
error14	バッテリーの過放電保護が作動しました。	ご使用方法を中止し、バッテリーが冷えるのを待ち、接続を確認し、必要に応じてカスタマーサービスに連絡してください。
error15	バッテリーの過電流保護が作動しました。	ご使用方法を中止し、バッテリーが冷えるのを待ち、接続を確認し、必要に応じてカスタマーサービスに連絡してください。
error16	バッテリーの短絡保護が作動しました。	ご使用方法を中止し、必要に応じてカスタマーサービスに連絡してください。
error17	バッテリーの過熱保護が作動しました。	デバイスを再起動する前に、バッテリーの温度が正常になるまでお待ちください。
error18	バッテリー低温保護が作動しました。	デバイスを再起動する前に、バッテリーの温度が正常になるまでお待ちください。
error19	バッテリー通信障害が検出されました。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error20	モータードライブボードの温度が高すぎます。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error21	モータードライブ障害。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。
error22	充電モジュール障害。	さらなるサービスサポートについては、Hypershellカスタマーサービスチームにお問い合わせください。

商標および法的表示

Hypershellは、Hypershell Co., Ltd（極殻科技（上海）有限公司）（以下「Hypershell」）およびその関連会社の商標です。本マニュアルに記載されている製品名、ブランド名などは、それぞれの所有会社の商標または登録商標です。本製品およびマニュアルの著作権はHypershellに帰属し、全ての権利はHypershellに帰属します。本製品またはマニュアルのいかなる部分も、Hypershellの事前の書面による同意または許可無しに複製することはできません。

法律及び規制に従い、Hypershellは本文書および本製品に関連するすべての文書の最終的な解釈を行う権利を保留します。本文書は、事前のご注意なしに変更（更新、改定、または終了）される場合があります。最新の製品情報については、Hypershellの公式ウェブサイト (<https://www.hypershell.tech/support/>) をご覧ください。

この内容は変更される可能性があります。

本文書についてご質問がある場合は、Hypershell (support@hypershell.tech)

までお問い合わせください。

著作権©2025 Hypershell 無断転載を禁じます。

SNSでフォローしてください。

[Facebook](#)／[Instagram](#)／[X](#)／[YouTube](#)